

レイチェル・カーソン生誕 112 年記念 「講演と音楽の集い」

- ◇日時：2019年 5月23日(木) 14:00~20:30
- ◇会場：北海道大学・遠友学舎(札幌市北区北18条西7)
- ◇ハープ演奏：14:15~15:00
「センス・オブ・ワンダー^(注1)」などの美しいことばをハープの音色にのせて
演奏：若菜 直美さん
- ◇第1部：15:00~17:00
「レイチェル・カーソンの精神と『銀河通信』」
講師：樋口 みな子さん
「『放射能測定マップ』～市民がつくった汚染地図～」
講師：富塚 とも子さん
- ◇第2部：18:00~20:30
「『生きる覚悟』と『希望の光』」
～原発事故で自主避難して少女だった私を感じたこと～
講師：安達 和叶さん

(注1)：レイチェル・カーソン著「センス オブ ワンダー」上遠恵子訳 新潮社

私たちレイチェル・カーソン北海道の会は、とりわけ未来をになう子どもたちに、自然の不思議さに目をみはる感性(センス・オブ・ワンダー)が育まれるように、多くの市民と共に環境問題を知り・考えるための活動を行っています。生誕112年、「沈黙の春」出版から56年の“この春”、レイチェル・カーソンが私たちに残してくれたもの、伝えたかったこと、今を生きるヒントは、ますます重要になってきました。

どうぞお気軽にご参加ください。

プログラム

- 12:30~ 開場(同時に映画を上映いたします)
- 14:00~14:15 開会の挨拶 沼田 勇美(共同代表)
- 14:15~15:00 若菜 直美さんのハープ演奏と歌の集い
- 15:00~17:00 記念講演 第1部 樋口 みな子さん、富塚 とも子さん
- 17:15~18:00 「レイチェル・カーソンの歩んだ道」パネル展示と説明ならびに懇談
- 18:00~20:30 記念講演 第2部 安達 和叶さん
- 20:30~20:40 閉会の挨拶 近藤 務(共同代表)

会場の案内図

地下鉄南北線・北18条駅下
車西に向かって徒歩8分
13:30開場いたします

資料代：500円
事前申込み不要

北大
遠友学舎



至：札幌駅

主催：レイチェル・カーソン北海道の会

問合せ：沼田 ☎080-3265-4382 yummie624@hotmail.co.jp

レイチェル・カーソン北海道の会・HP：<http://gisjirou.blog.fc2.com>

第1部

◆「レイチェル・カーソンの精神と『銀河通信』」

樋口 みな子さん

学生時代に水俣病に出会い、臨床検査技師の専門学校卒業後、大阪の某企業の産業衛生部で公害分析に従事。公害から市民や職員を守りたいとの願いは届かず退職。その後、北海道にUターン。チェルノブイリ原発事故で、子どもの命を守りたいと高木仁三郎さんの「反原発語りて養成講座」を受講。長年取り組んできた自然保護などの市民運動や原発の怖さを知らせたいと1988年、「銀河通信」を創刊。現在212号になる。読者は海外や道内外の600人。映画や本も紹介。「泊原発の廃炉をめざす会」のニュースを6年半担当。泊原発廃炉訴訟原告として2018年10月に意見陳述。現在は植村裁判を支える市民の会で広報を担当している。江別市在住。



◆『放射能測定マップ』～市民がつくった汚染地図～

富塚 とも子さん(はかーる・さっぽろ)

1958年生まれ。1981年北海道大学農学部卒業。

子どものアトピー性皮膚炎発症を機に、食の安全・安心を考える市民活動に参加。命をはぐくむ「食」をキーワードに、さまざまな生活課題をコミュニティの力で解決することを目的とする市民団体「さっぽろ食まちネット」、市民の依頼で食品の放射能濃度を測定する「さっぽろ市民放射能測定所はかーる・さっぽろ」代表。遺伝子組み換え作物、原発、TPPなど、食の安全を脅かす問題についての情報提供活動を行っている。札幌市在住。



第2部

◆『『生きる覚悟』と『希望の光』～原発事故で自主避難して少女だった私が感じたこと～』

安達 和叶さん

1995年 福島県郡山市生まれ、福島県伊達市育ち。

2011年3月11日 福島県伊達市にて東日本大震災・原発事故を経験。

2011年5月 山形県山形市に家族で自主避難。

2015年5月 短大2年の時に札幌に一人移住。

現在、北海道各地で講演会活動をしている。



ハーブ演奏

◆「センス・オブ・ワンダー」などの美しいことばをハーブの音色にのせて・・・

若菜 直美さん

1984年 PARCO 主催「第2回オルガン坂大賞」作曲部門審査員個人賞受賞。

1996年月刊『クーヨン』主催「子どもたちのうた大賞」佳作受賞。

2003年～2009年文化女子大学室蘭短期大学保育科専任講師。

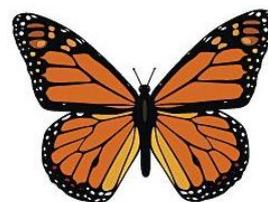
小さなハーブとの出会いは約20年前。子どもと過ごす時間を歌にするなど、暮らしの中で歌をつくってきた。



「レイチェル・カーソン北海道の会」からのお知らせ

私たちは、レイチェル・カーソン(1907-1964)の生誕100年の2007年5月から毎年、パネル展と記念講演会を開催しています。また毎月、定例学習会を行い同女史の思想、生き方を学んでいます。

定例学習会は北海道大学・遠友学舎で15:00～17:00に開催しています。どなたでも参加できます。一緒に学習してみませんか。お待ちしております。



<モナーク蝶・オオカバマダラ>

北アメリカ大陸を数千kmに渡り移動する蝶であり、レイチェル・カーソンは自身の役割と余命を重ね合せめていました。